

# ジベレリンペースト剤を用いた「但馬1号」(なしおとめ)の早期出荷技術

【背景・目的・成果】 県北部地域は例年8月20日前後に収穫期を迎える「但馬1号」(なしおとめ)について、早期出荷技術としてジベレリンペースト剤処理の有効性を検討しました。満開40日後にジベレリンペースト剤を処理したところ、熟期が7日程度早まり、平均果重も増加しました。

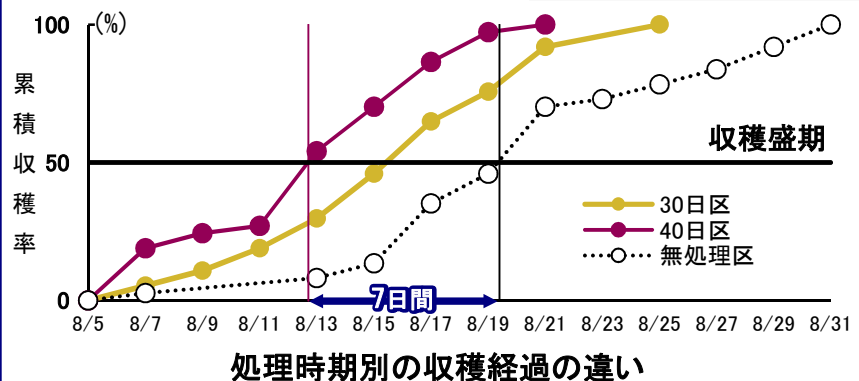
## ジベレリンペースト剤の使用量



## 収穫時期の早期化

成熟した果実を順に収穫し、収穫時期の違いを調査しました

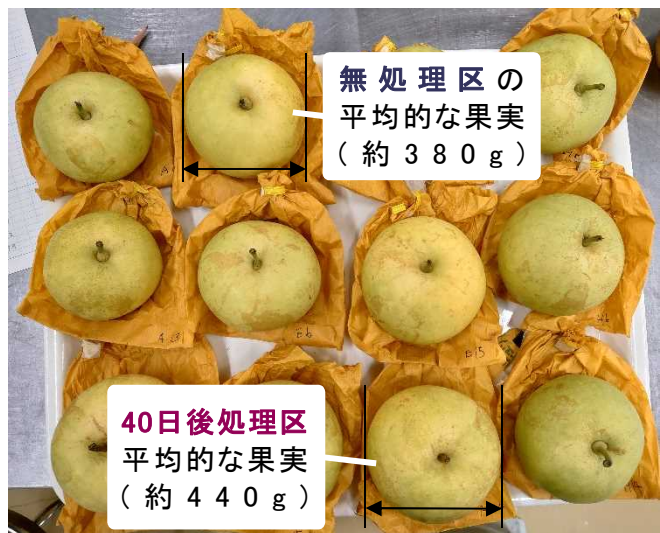
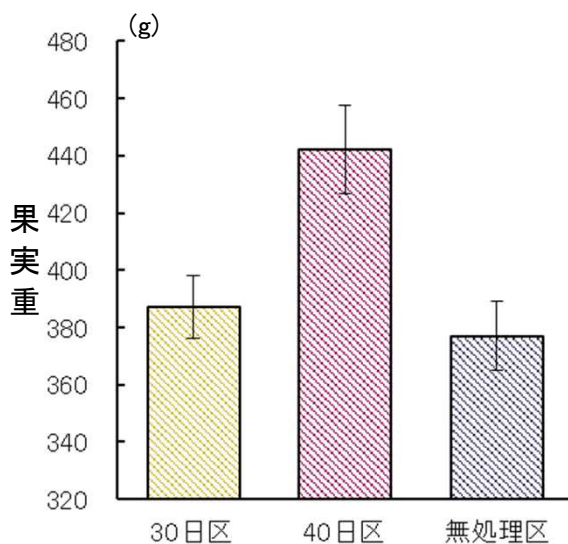
● 満開40日後処理区は無処理よりも7日間早く収穫できました



## 果実への影響

収穫した果実の外観や品質の違いを調査した

● 満開40日後処理の果実は無処理(平均約380g)のものとは比べ、約60g大きくなりました。



参考: 左図の平均果実重並の果実の大きさ

【技術の活用】 「但馬1号」の出荷が盆の需要期に対応でき、出荷可能期間を拡大できます。

果実品質や日持ち性に差は見られませんでした。「但馬1号」では処理時期が遅くなると効果は高いですが、適用時期を厳守して施用します。

